

再掲

令和7年3月19日（水）
ホームページ公表資料

航空自衛隊芦屋基地
司令 兼田 大助 様
九州防衛局
局長 江原 康雄 様

令和7年2月6日
令和7年2月7日

岡垣町長 門司 晋

岡垣町議会議員 森山 浩二

航空自衛隊芦屋基地周辺のPFOS及びPFOA対策について

平素から岡垣町のまちづくりについて、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、列島各地で発生する大規模な地震や豪雨災害等に伴う災害派遣任務、国際情勢が緊張感を増す中での国防の任務など、日々ご尽力されていることに対して改めて敬意を表します。

さて、水道におけるPFOS及びPFOAに関する調査の結果がとりまとめられ、令和6年12月24日に国設専用水道における水質検査の結果が国土交通省及び環境省から公表され、航空自衛隊芦屋基地専用水道の水道水において、PFOS及びPFOAの暫定目標値を超過していることが周知されました。

岡垣町においても、水道水の水源井戸について令和2年11月から水質検査を行ってきており、芦屋基地内及び基地に近接する糠塚水源の一部の井戸で、暫定目標値を超過するPFOS及びPFOAが継続して検出されています。現在は、最も検出量の多い井戸からの取水を停止し、糠塚水源の他の井戸との相関関係について調査しております。また、他の水源との取水量を調整しながら水道水の安全確保にも努めています。

当町の地下水は、先人から受け継いできた資源であり、住民生活に欠くことのできない貴重な財産です。地下水の水質を良好に維持し、次世代に引き継いでいくことは、議会、行政、そして町民の切なる願いであります。

これらの状況を踏まえ、岡垣町では町民に水質検査の結果や様々な対応状況について公表を行いながら、議会と行政で連携し町を挙げて対策に取り組んでいるところです。

以上の状況をご勘案いただき、下記の事項について強く要望いたします。

記

1. 芦屋基地内の地下水の流動調査などにより、PFOS及びPFOA検出の原因を究明し、周辺の自治体に報告を行うこと。特に、当町の糠塚水源に関連すると思われる区域については、早急な原因究明を行うこと。

なお、当該区域の調査に関するご見解（スケジュール、内容等）については、令和7年3月上旬を目途に文書にてご回答いただきますようお願いいたします。

2. PFOS及びPFOAを除去する施設の設置及び管理、新たな水源井戸の確保など、対策に必要な事業費については、既存の補助枠の拡大や別枠による補助など、補助総額の増額をすること。

令和7年2月6日及び7日付で岡垣町長と岡垣町議会議長の連名により提出した要望書について、令和7年3月14日付で航空自衛隊芦屋基地司令及び九州防衛局長より下記の通り回答がありましたのでお知らせします。

【防衛省 航空自衛隊 芦屋基地】

日頃より防衛行政にご理解、ご協力を賜り感謝いたします。

さて、令和7年2月6日に当基地周辺のPFOS及びPFOA対策について、ご要望を頂きました。

PFOS及びPFOAはこれまでもさまざまな用途に使用されてきたものですが、現在、関係省庁において、PFOS及びPFOAの挙動に関する科学的知見の集積などに努めているものと承知しています。

当基地としても、こうした動向を注視しつつ、防衛省、関係省庁や関係自治体と連携しながら地元住民の皆様の不安を払しょくできるよう、適切に対応してまいります。

以上

【九州防衛局】

日頃より防衛行政にご理解、ご協力を賜り感謝いたします。

さて、令和7年2月7日に航空自衛隊芦屋基地周辺のPFOS及びPFOA対策について、ご要望を頂きました。

PFOS及びPFOAはこれまでもさまざまな用途に使用されてきたものですが、現在、関係省庁において、PFOS及びPFOAの挙動に関する科学的知見の集積などに努めているものと承知しています。

防衛省としても、こうした動向を注視しつつ、関係省庁や関係自治体と連携しながら地元住民の皆様の不安を払しょくできるよう、適切に対応してまいります。

以上